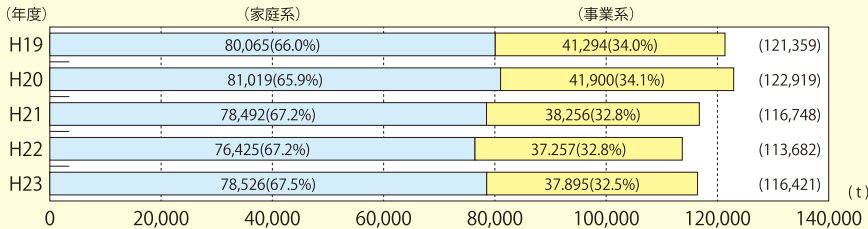


### 3 23年度の施策・活動の事例

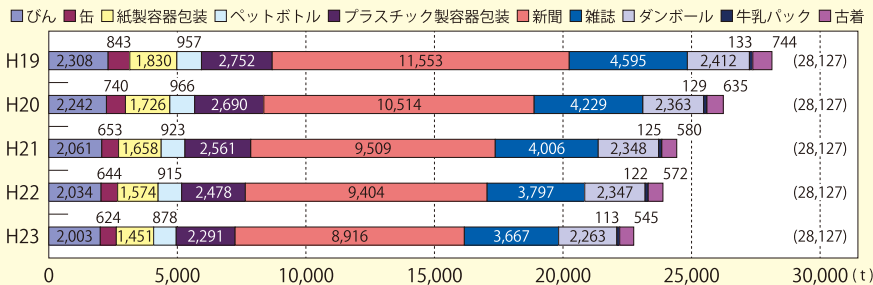
#### (1) 本市のごみ事情

本市では、増え続けるごみを減らすために、家庭系ごみの減量施策として、3分別（紙製容器包装・ペットボトル・プラスチック製容器包装）、空き缶、空きびんの分別収集を行っています。また、新聞などの古紙類、古着などを資源ごみとして回収しています。

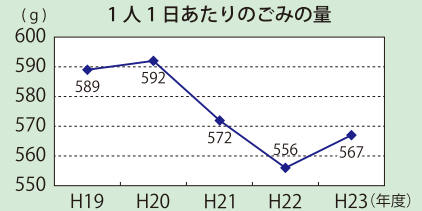
#### 家庭系・事業系比較



#### ごみ分別による資源物量



#### 〔家庭から出たごみの量(平成23年度)〕



〔1人あたりのごみの量〕  
208 kg  
〔1人1日あたりのごみの量〕  
567 g

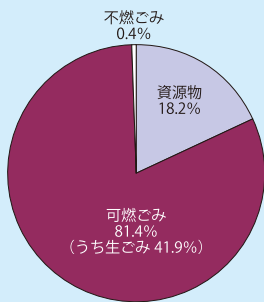
〔1年間のごみの量〕  
78,526 t  
〔1日あたりのごみの量〕  
215 t

平成24年度の1人あたりのごみ処理負担額(資源等含む)は、**10,036円**  
(ごみ処理に要する経常経費の予算額から積算)

### 平成23年度ごみ質分析結果

#### ごみステーション排出分(重量比)

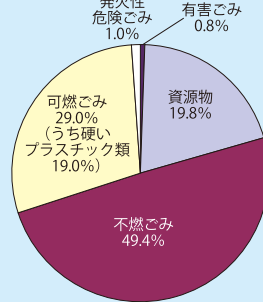
#### 【可燃ごみ】



#### 資源物内訳

プラスチック製容器包装	4
古着	2.7
紙製容器包装	2.5
古紙類	8.7
ペットボトル	0.3

#### 【不燃ごみ】

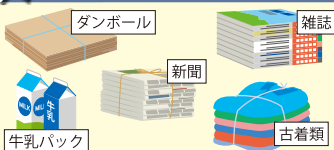


#### 資源物内訳

プラスチック製容器包装	4.2
空き缶	3.5
空きびん・生きびん	11.6
ペットボトル	0.5

#### 古紙類・古着類 (11.4%)

資源になる古紙類・古着類が多く混入されています。



地域の資源回収  
市役所・支所・回収協力店等の  
拠点回収へ

#### 生ごみ (41.6%)

可燃ごみの半分近くは生ごみです。  
生ごみを減量すれば可燃ゴミを大きく減らせます。

- 生ごみを出すときは、よく水を切ってから出しましょう。
- できるだけ生ごみを出さないように上手に買い物や料理をしましょう。

生ごみ処理機を使って  
生ごみをリサイクルしましょう  
本市では生ごみ処理機の購入に対して、  
最高27,000円の補助金を出しています。

#### 発火性危険ごみ (1.0%)

不燃ゴミの中に  
スプレー缶やライターなどが  
混入していました。

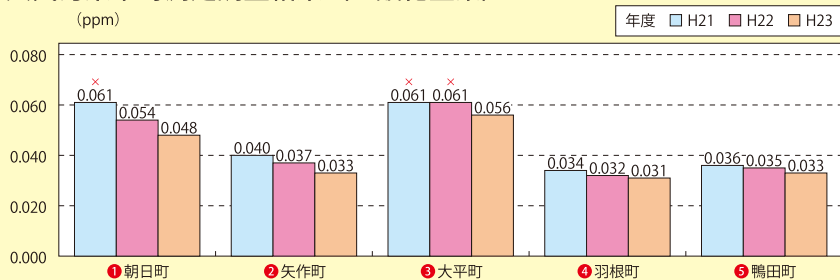
平成23年度には不燃ごみの車両火災が7件発生し、その原因のほとんどは不燃ごみの中に混入した発火性危険ごみと考えられています。平成19年度には施設の爆発事故も起こりました。

スプレー缶、ライターなどの発火性危険ごみは、リサイクルステーションの黄色いコンテナに出して下さい。

## (2) 水環境・生活環境の環境状況

### ア 大気汚染の現状

#### ■ 大気汚染常時測定調査結果（二酸化窒素）



環境基準……98%値が0.06ppm以下。

※の数値については、環境基準が達成されなかったことを示します。

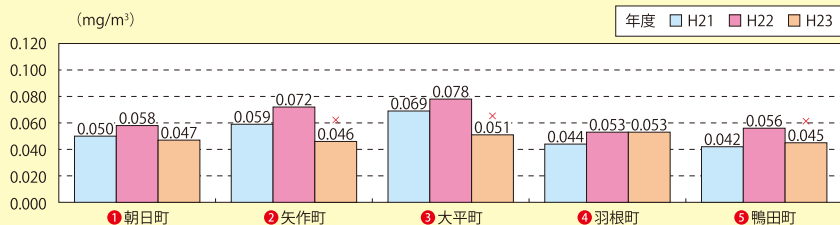
二酸化窒素……主に自動車や工場の排気ガスに含まれています。

ppm……100万分中のいくつであるかを示す分率で、ごく微量の物質の濃度や含有率を表すのに使われます。大気汚染では1m<sup>3</sup>の大気中に1cm<sup>3</sup>の物質が含まれる状態を表します。

(parts per million)

98%値……年間における1日平均値のうち、低い方から98%に相当する値です。

#### ■ 大気汚染常時測定調査結果（浮遊粒子状物質）



環境基準……2%除外値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下、ただし1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日が2日以上連続しないこと。

※の数値については、環境基準が達成されなかったことを示します。

浮遊粒子状物質……大気中に浮遊している物質のうち、粒径10ミクロン（100分の1ミリ）以下のものをいいます。

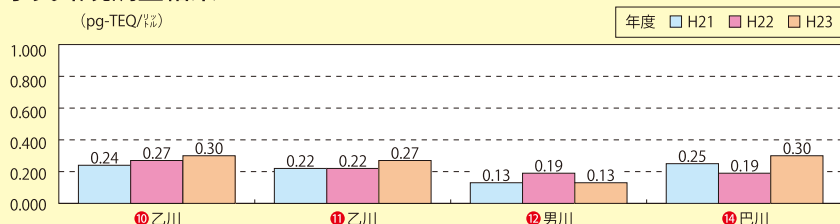
2%除外値……年間にわたる1日平均値である測定値につき、測定値に高いほうから2%の範囲内にあるものを除外した値です。

### イ ダイオキシン類調査結果

#### ■ 大気環境調査結果



#### ■ 水質環境調査結果



ダイオキシン類……ダイオキシン類対策特別措置法において、有機塩素化合物のポリ塩化ジベンゾ-p-ジオキシン（PCDD）、ポリ塩化ジベンゾフラン（PCDF）、コプラナーポリ塩化ジフェニル（Co-PCB）をダイオキシン類と定義しており、物の燃焼等の過程で非意図的に生成します。ダイオキシン類の毒性は、一般毒性、発がん性、生殖毒性、免疫毒性など多岐にわたっています。

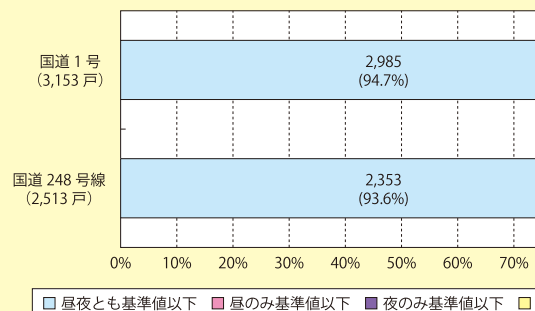
pg-TEQ……pg（ピコグラム）とは、1兆分の1グラムを表しています。また、TEQとは、「毒性等量」と表現し、200以上存在するダイオキシン類について、それぞれの毒性の違いを同じ毒性に換算することをいい、その量を表す単位がpg-TEQです。



### ウ 自動車騒音の現状

#### ■ 自動車騒音に係る環境基準の達成状況〔平成25年度〕

道路を一定区間ごとに区切って評価区間を設定し、評価区間騒音測定を行い、その結果を用いて評価区間内の道路端から50m以内の住居等について等価騒音レベルの推計を行うことにより環境基準との割合を把握しています。このことを面的評価といいます。



〔 〕内は評価対象住居等戸数

%の合計値は、四捨五入の関係で合わないことがあります。

●環境基準とは●

環境基本法で「人の健康の保護及び生活環境を保全するうえで、維持されることが望ましい基準」、ダイオキシン類対策特別措置法で「人の健康を保護するうえで、維持されることが望ましい基準」として、大気、水、土壌、騒音、ダイオキシン類をどの程度に保つかという目標を定めたものが環境基準です。環境基準は「維持されることが望ましい基準」であり、行政上の政策目標です。これは、人の健康等を維持するための最低限度としてではなく、より積極的に維持されることが望ましい目標として、その確保を図っていかうとするものです。

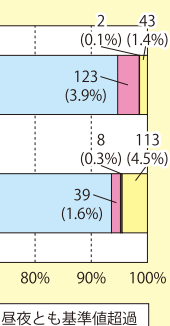


1 朝日町 (朝日大気測定局)
2 矢作町 (矢作大気測定局)
3 大平町 (大平大気測定局)
4 羽根町 (羽根大気測定局)
5 鴨田町 (鴨田大気測定局)
6 美合町 (総合検査センター)
7 宇頭南町 (西部学校給食センター)
8 榎山町 (森の総合駅)
9 仁木町 (仁木浄水場)
10 乙川 岡崎市上水道取入口
11 乙川 占部用水取入口
12 男川 学校橋
13 矢作川 美矢井橋
14 巴川 細川頭首工
15 鹿乗川 東鹿乗川橋
16 雨山川及び乙女川下流 ツノジ橋

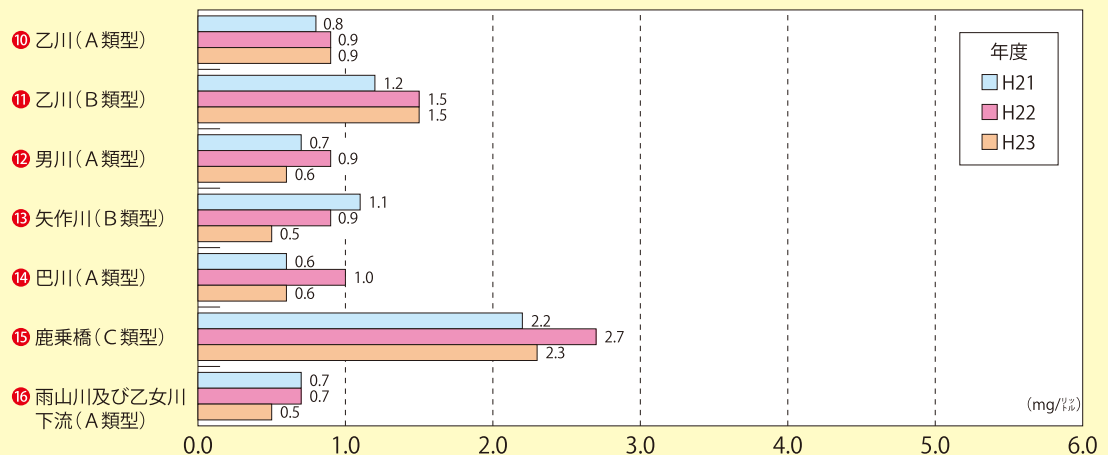
工 河川の水質の現状

23年度

内の代表する1地点で  
0 m範囲内にあるすべ  
環境基準を達成する戸数



■ 類型指定河川調査結果 (BOD 75%値)



平成22年度調査では、類型指定がされている全ての地点においてBODについての環境基準を満たしていました。  
 類型指定……国において類型別に環境基準の基準値が示され、これに基づき県が河川等の状況等を勘案し、地域にあてはめて指定します。このことを類型指定といい、AA、A、B、C、D、Eの6段階の類型があります。  
 BOD 75%値……BODとは、水中の汚れ度合いを示す指標で、水中の有機物が一定期間、一定温度で、微生物によって酸化分解されるときに消費される酸素量のことです。この数値が大きいほど、水質が汚濁していることを意味します。75%値とは、年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べて75%目にあたる値を75%水質値といいます。年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合に75%水質値を用います。

## (3) 環境関連施設の状況

### 中央クリーンセンター

環境への負担が少なく持続的な発展が可能な「循環型社会」の形成を目指し、ごみを「安全」に処理し、「安定」して稼働ができ、「安心」していただける施設として、新しい「中央クリーンセンター」が完成しました。従来は、ごみを焼却し灰として排出するのに対して、今回は、「ガス化溶融炉」を採用し、「溶融スラグ」としてアスファルトの原料などに利用できる資源物に再生します。また、発生する高い熱量を利用して、従来より効率の良い発電を行います。



### リサイクルプラザ リサイクルの日

ごみ減量とリサイクルを推進するために、リサイクルプラザにおいて、資源物のリサイクル、家具・自転車の再生品の展示販売、廃ガラスを利用するガラス工芸講座などを行い、毎月第4日曜日を「リサイクルの日」として、施設を一般開放しています。

【平成 23 年度】

入場者数	2,672 人
サンドブラスト利用者	555 人
吹きガラス利用者	53 人
再生家具販売数 (応募総数 2,315 件)	117 点
再生自転車販売数 (応募総数 1,747 件)	133 点

### 総合検査センター 夏休みこども教室

夏休み期間中に市内の小学校 4～6 年生を対象として、環境問題に関する意識の高揚を図るための学習教室を開催しています。

開催日	コース名	参加者
8/3	たいきコース	14 人
8/4	みずコース	22 人
8/5	えいせいコース	29 人



### 北山湿地

市の中南部にある北山湿地は古くから残る自然湿地です。特有の植物や昆虫が生育・生息しており、環境省の「日本の重要湿地 500」に選ばれています。この湿地を自然遺産として後世に残すとともに、市民の自然とのふれあいの場として整備するために、市民団体と協力して、定期的な保全活動を行っています。

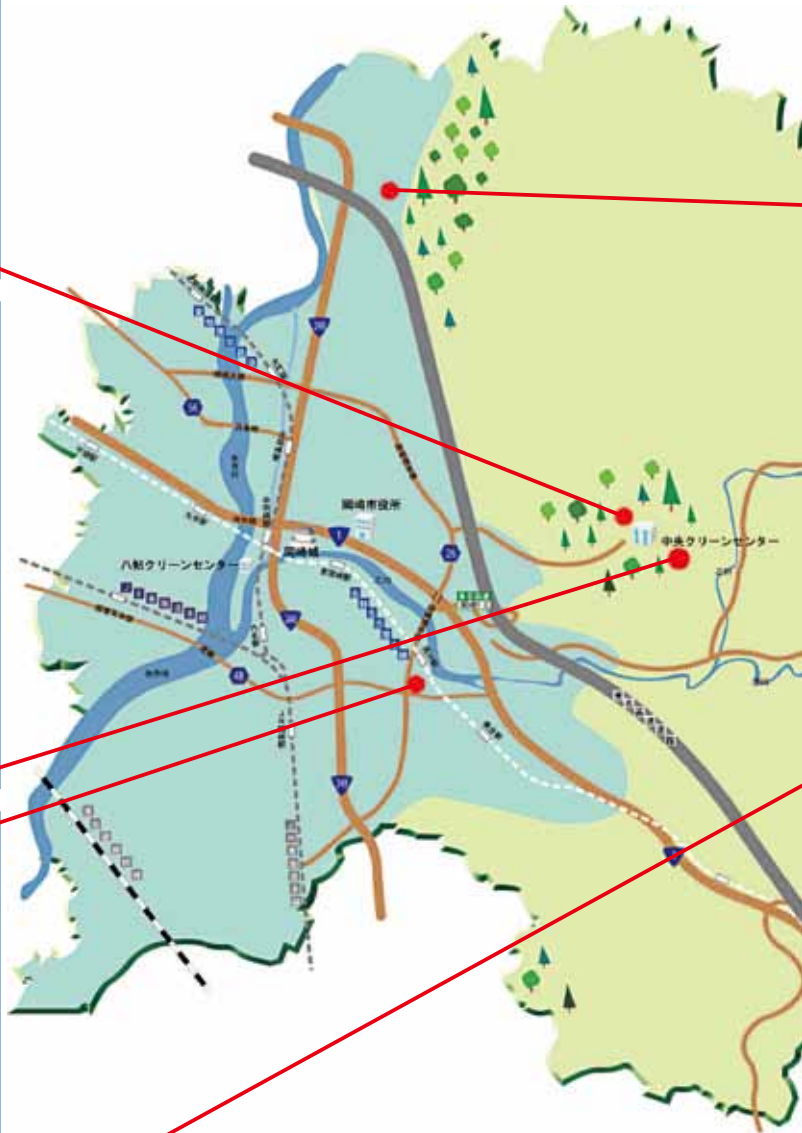


【平成 23 年度】

市民団体による保全整備：10 回実施  
 観察会：2 回実施 36 人参加

### 鳥川ホタルの里湧水群

平成 20 年 6 月、環境省は水環境保全の一層の推進を図るため、「平成の名水百選」を選定しました。愛知県からは犬山市の八曾滝とともに、岡崎市鳥川ホタルの里湧水群が選ばれました。



## おかざき水とみどりの森の駅

### おかざき自然体験の森 (八ツ木町)

里山の自然環境の中で、様々な自然体験・環境学習プログラムを用意しています。

【平成23年度】

総入場者数：17,668人

<環境教育プログラム> 160回

実施 1,888人参加

(問合せ先) 0564 - 45 - 5544

(詳しくは) <http://www.sizentaiken.jp/>



### 茅葺の里 (千万町町)

山奥の茅葺民家の囲炉裏や縁側でのんびり。そば打ちや田植えなど田舎暮らし体験が満喫できます。

【平成23年度の主な実績】

<田舎暮らし体験> 12回開催  
691人参加

(問合せ先) 0564 - 83 - 2590

(詳しくは) <http://www.morinoeki.jp/>



### こども自然遊びの森「わんPark」(淡路町)

「水とみどりの森の駅」の新しい駅となる「わんPark」が平成22年10月1日にオープンしました。この施設は、額田支所の4km東、淡路町の男川が大きく湾曲した南側の高台にあり芝生広場や泥んこプールを始め、子どもたちが伸び伸びと安心して自然遊びが体験できる施設です。

【平成23年度】

総入場者数 19,389人

自然遊びプログラム 27回 586人

(問合せ先) 0564 - 82 - 3511

(詳しくは) <http://www.morinoeki.jp/>



### くらがり溪谷 (石原町)

男川の源流になる清流で、ハイキングやマス釣り、バーベキュー、自然観察など多彩なアウトドアライフが思う存分楽しめます。

【平成23年度の主な実績】

<自然観察会> 10回開催 196人参加

(問合せ先) 0564 - 83 - 2057



### 森の総合駅 (榎山町)

森の駅のすべてを知ることができる「森の駅」の総合案内所。「森のギャラリー」では自然にかかわるアートの展示や物づくり体験イベントなどを実施しています。



(問合せ先) 0564 - 82 - 2511

(詳しくは) <http://www.morinoeki.jp/>

### おおだの森 (榎山町・夏山町)

市民の手で、おおだ山にヤマザクラやモミジの植栽をしたり、森の手入れをしたり。自然散策や山頂からの展望も楽しめます。

【平成23年度の主な実績】

<花見会> 平成23年4月3日

60人参加

<初日の出を見る会> 平成24年1月1日 250人参加

(問合せ先) 0564 - 23 - 6921



## (4) おかざき水とみどりの森の駅事業

岡崎市には、水道水の50%を占める乙川の水源地と豊かな自然があります。水は、私たち人類を始めとした生き物の命の源であり、その水は緑豊かな自然環境の中で育まれています。また、「自然環境」は、水源涵養のほか地球環境保全機能、防災機能、生物多様性維持、レクリエーション機能、農林漁業等の産業資源として多様な役割を担っています。

「森の駅」事業は、本市における「水資源」と「豊かな自然環境」を将来にわたり継承するため、保全育成し、活用していくことを大きな目的にしています。

※ここでいう「自然環境」とは、天然の自然だけでなく、田畑や里山など人の手が加わった自然環境も含んでいます。



### 平成23年度実績

#### <環境啓発イベント>

##### 【わんぱくフェスタ】



開催日：平成23年7月24日  
場 所：乙川(井沢町)  
内 容：渓谷冒険  
参加者：68人

##### 【おと川リバーヘッド大作戦】



開催日：平成23年8月18日  
11月20日  
場 所：石原町  
内 容：間伐体験  
参加者：26人(8/18)  
17人(11/20)

#### <活動団体による保全活動等>

活動場所	活動内容	活動回数(回)	参加人数(人)
おおだの森	植樹、下草刈 散策道草刈等	23	428
鳥川ホタルの里	除間伐、川草刈、 登山道整備、看板等設置	7	413
日近の里	遊歩道整備、下草刈等	6	78



おおだの森保全活動

## (5) 環境教育・環境学習

## ○おかざきエコプロジェクト

地域の自然を大切にする心や環境を守るために行動する力を育むことを目的とした、幼児の環境教育プログラム「おかざきエコプロジェクト」を実施し、幼稚園・保育園の環境学習を積極的にお手伝いしています。

【平成 23 年度】111 回実施：3,630 人参加



コース	実施場所	内容・期待する効果	実施(回)	参加(人)
森のめいたんてい	おかざき自然体験の森	葉っぱから土になる仕組みを探って自然の循環に気づき、自然を大切にする行動につなげます。	32	1,031
川のいきものハカセ	園近くの川	身近な川の生き物を調査して川の汚れに気づき、きれいな川を守る行動につなげます。	16	411
リサイクルだいさくせん	園内	分別・リサイクルゲームで「きれいなまち」をつくり、ごみ拾い・分別・再利用の行動につなげます。	31	1,094
もったいない	園内	好き嫌い・食べのこしをしないことによりごみ処理の流れを理解し、地球を守る行動につなげます。	32	1,094

※対象：市内の公立保育園・公立幼稚園の年長児

## ○小中学校における環境教室

小中学校における環境教育をより効果的に進めるために、市職員又は地球温暖化防止隊の会員を講師として派遣しています。

【平成 23 年度】  
88 回実施：3,496 人参加



コース	実施(回)	参加(人)
我ら地球温暖化防止隊	24	721
バスエコ教室	0	0
ごみとリサイクル	7	642
わたしたちと水	27	925
そらをきれいに	0	0
産業廃棄物ってなに!	0	0
川の生き物から学ぶ川の汚れ	9	471
自然から学ぼう!	0	0
知っていますか? 外来生物	1	35
エコマンダーの時間	14	501

## ○地域における環境学習

環境について自主的に学び、実際に行動するきっかけとしていただくために、地域住民、地域団体などを対象とした環境学習を実施しています。

市職員や地球温暖化防止隊の会員が講師となり、参加体験型の学習の機会なるように工夫しています。

【平成 23 年度】  
参加団体：延べ 27 団体 参加者：延べ 746 人

## ○未来環境創造戦士エコマンダー

これからの世代を担う子どもたちが環境に興味を持ち、環境教育に大切な“気づき”、“学び”、“行動する”などのきっかけづくりとするために、平成 18 年 11 月、岡崎市の環境を守るニューヒーロー「未来環境創造戦士エコマンダー」が誕生しました。

環境に関するイベントでのショー、保育園での環境教育の場などで、子どもたちに熱い思いを伝え続けています。



【平成 23 年度】  
「未来環境創造戦士エコマンダー」ショー：9 回  
おかざきエコプロジェクトへの出演：111 回 3,622 人参加



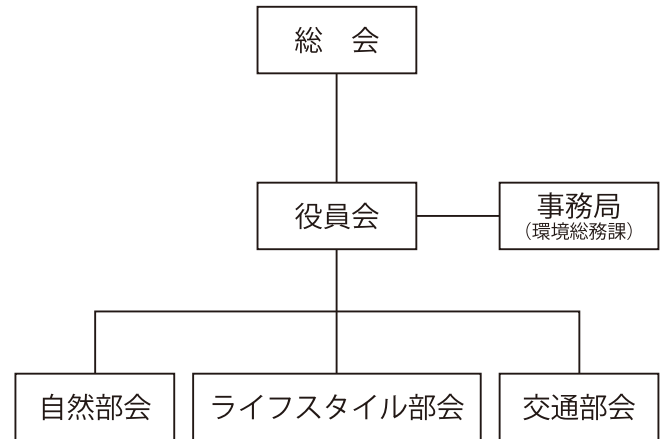
## (6) 岡崎市環境基本計画市民協働プロジェクト推進状況

岡崎市環境基本計画のうち「自然」「ライフスタイル」「交通」の3つの面から市民・事業者・行政で協働する市民協働プロジェクトと位置付けられているもの。このプロジェクトの推進組織である「岡崎市環境まちづくり市民会議」(会員数 38名)の平成23年度の活動状況です。



【環境まちづくり市民会議会員の皆さま】

【環境まちづくり市民会議会員の皆さま】



### ■ 【自然プロジェクト No.1】 里山を我が家に持ち帰ろう！！ 一家一絆運動

里山保全活動を推進し、間伐材の有益性を周知するとともに利用普及を促進するため、「里山とふれあい、工作を楽しもう(里山保全活動及び間伐材工作教室)」をおおだの森と森の総合駅を会場に3回開催しました。

- 第1回 平成23年 6月26日 参加者 12名
- 第2回 平成23年 8月28日 参加者 10名
- 第3回 平成24年 3月11日 参加者 15名



### ■ 【自然プロジェクト No.2】 遊休農地再利用のための「お見合い大作戦」!

モデル事業実施場所(遊休農地)として奥殿町地内にて市民農園を開設し、農園利用者の募集、地主との契約などの支援を行いました。また、農地の草刈作業を農園利用者と共に行い、利用者の感想、意見等を聞くための座談会を開催しました。

- 平成23年 5月14日～ 農園利用開始 利用者 11組
- 平成23年 11月 6日 合同草刈作業及び座談会開催 参加者 19名

### ■ 【自然プロジェクト No.3】 フォトアートコンテスト

「再発見!環境フォトコンテスト2011」を開催しました。7月から3カ月間作品募集を行い、部会、役員会において、受賞作品を選考、決定のうえ、「わくわくエコマNDERパーク」にて、表彰式を行いました。

- 応募作品数 25作品(応募人数 14名)
- 平成24年 1月22日 表彰式開催  
(環境まちづくり大賞1点、優秀賞5点)



【平成23年度大賞受賞作品】



## ■【ライフスタイルプロジェクト No.1】低炭素な「食と農」プロジェクト

飲食店での洗い箸の使用を推進するための「洗い箸を使おうキャンペーン」の一環として、市内の飲食店へ協力を要請し、キャンペーンに参加した店舗に対し、協力店証と洗い箸ステッカーを進呈しました。

また、「地元の農産物を食べて温暖化を止めようキャンペーン」の一環として、「地産地消標語コンテスト」を実施するとともに、岡崎商工会議所主催の「おかざきファーマーズマーケット」にて、岡崎産もち米を使用した「もちつきまつり」を開催しました。



洗い箸を使おうキャンペーン参加店舗 8店舗

平成23年 5月～6月 地産地消標語募集 応募作品 173点  
(小学生124点、中学生30点、一般19点)  
平成23年11月19日 地産地消標語コンテスト表彰式開催  
(最優秀賞1点、優秀賞8点、佳作7点)  
平成23年12月 3日 もちつきまつり 参加者 350名

## ■【ライフスタイルプロジェクト No.2】 岡崎を、自然エネルギーをいっぱい利用する町にしよう

自然エネルギーへの理解を深めるため、会員を対象とした自然エネルギー施設等(たけとよメガソーラー発電所、碧南火力発電所)への見学会を開催しました。

平成24年 1月26日 メガソーラー等見学会  
会員参加者 24名



## ■【ライフスタイルプロジェクト No.4】岡崎天水桶を広めよう

平成21年度に雨水貯留施設(ドラム缶天水桶)の貸し出しを受けたモニターから提出された調査票を取りまとめ、雨水の使用状況を分析しました。また、「環境フレンドリーパーク」において、天水桶模型の展示を行い、来場者への普及啓発を実施しました。

## ■【交通プロジェクト No.1】みんなでやろまい!エコ通勤

市内エコ通勤実施事業所に対するエコ通勤事業所認定制度の制度設計を検討しました。

## ■【交通プロジェクト No.4】ぶらっきょろりん

ぶらっきょろりん実施モデル地区を2地区選定し、「歩くこと」の再発見と再認識、車から歩きへのシフトを啓発するためにイベント(イベント名称:ぶらっきょろりん)を開催しました。

平成23年10月23日  
(岩津天満宮～真福寺～円福寺～伸光明寺)参加者 80名  
平成24年 3月18日  
(東岡崎～恵美寿神社～乙川河川敷～若宮八幡宮)参加者 68名



## ■【交通プロジェクト No.5】車乗るならエコドライブ

エコドライブ技術の習得を進めるため、エコドライブコンテストを開催しました。

平成23年11月20日 開催会場：上地自動車学校  
参加者 15名



## ■ 広報事業

環境まちづくり市民会議の活動を紹介する「おかざき環境まちづくりだより」を年4回(6月、9月、12月、3月)発行し、会員及び会員以外へも配布することで、団体の周知と活動の啓発を行いました。



## ■ その他

環境基本計画・プロジェクトの周知等をするため、平成23年8月27日に「環境フレンドリーパーク」において、竹水鉄砲工作・天水桶模型の展示・プロジェクト周知パンフレットの配布などを行いました。

## ★ 平成24年度岡崎市環境まちづくり市民会議活動予定

プロジェクト名	活動内容
里山を我が家に持ち帰ろう!! 一家一絆運動	市民に里山保全活動への参加を呼びかけ保全活動を実施するとともに、地元産の間伐材を活用した木工教室を開催し、間伐材の有益性等を周知し、利用普及を推進します。
遊休農地再利用のための「お見合い大作戦」!	既存モデル地区において市民農園を管理運営するとともに、座談会等を開催し利用者の意見等を聴取します。また、新たなモデル地区を選定し、遊休農地の再利用方法について検討します。
フォトアートコンテスト	フォトアートコンテストを開催します。コンテスト実施後には入選発表及び表彰を行います。また、メールマガジンの配信等について検討します。
低炭素な「食と農」プロジェクト	飲食店での洗い箸の使用を推進するため「洗い箸を使おうキャンペーン」を継続して実施し、協力店舗の拡大を図ります。「地元の農産物を食べて温暖化を止めようキャンペーン」の一環として、岡崎産もち米を使用した「もちつきまつり」を開催します。
岡崎を、自然エネルギーをいっぱい利用する町にしよう	自然エネルギー利用のための技術、問題点、コスト等の情報を調査、収集します。また、自然エネルギーへの理解を深めるため市民を対象とした自然エネルギー利用についての見学会等を開催します。小水力発電について調査を進め、その活用方法について検討します。
廃食用油を利用して、バイオディーゼル燃料 (BDF) に有効活用しよう事業	BDFに関する資料の収集及び作成をします。また、必要に応じてBDF関係施設見学を実施します。
岡崎天水桶を広めよう!	21年度に貸出しを実施した雨水貯留施設について、モニターから回収した調査票に基づき雨水利用状況を分析します。また、天水桶の普及啓発活動の一環として環境イベントにおいてパネル展示等を実施します。
岡崎版省エネマイスター制度普及事業	市内の大型量販店において、省エネに関する調査を行うとともに、「岡崎版省エネマイスター制度 (家電版)」を実施します。
みんなでやろまい! エコ通勤	市内のエコ通勤実施事業所に対するエコ通勤認定制度を創設し、制度に基づく認定を実施します。
自転車乗りん	市内の自転車販売店の調査等を行い、制度の検討を行います。
ぶらつきょろりん	ぶらつきょろりん実施モデル地区を選定し、市民を募集したウォーキングイベントを開催します。
車乗るならエコドライブ	エコドライブの普及を図るため、エコドライブコンテストを開催します。